

2022/23 シーズンにおけるインフルエンザワクチン等の接種 に関する考え方

2022年9月8日

予防接種推進専門協議会

- 2022/23 シーズンにおいてもインフルエンザワクチンの積極的な接種を強く推奨します

我が国における新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）は、2020年1月15日に初めての感染者が報告されて以降、現在までの累計感染者（PCR陽性者）は、10,100,011名、死亡者数は31,559名（2022年7月16日現在）¹⁾に上っています。また、新型コロナウイルスワクチンの接種率は我が国全体で2回目接種完了者80.9%、3回目接種完了者62.7%、65歳以上では2回目接種完了者率92.8%、3回目接種完了者90.2%、小児（5～11歳）で2回目接種完了者18.0%（2022年7月26日現在）となっています。²⁾

一方、これからの季節は例年であればインフルエンザの流行期を迎えることになります。2020/21 シーズンにおいては、1.4万人のインフルエンザの感染者³⁾であり、2021/22 シーズンにおいてはさらに少ない感染者数⁴⁾となっています。これには、COVID-19 流行により受診行動が2019/20 シーズン以前と大きく異なったこと、COVID-19 対策としての三密回避、人流抑制、飛沫感染対策、および手指衛生等の予防策が、インフルエンザに対しても有効であったことなどが要因として考えられます⁵⁾が、2022/23 シーズンの流行を見通すのは非常に難しい状況です。

さらに、2022/23 シーズンの北半球の流行予測をする指標となる南半球のオーストラリアでは、2022年4月中旬以降からインフルエンザ流行が報告されています⁶⁾。

現在国内における COVID-19 の流行は第7波を迎えて患者数は急増していますが、これから迎える冬季においても、COVID-19 の流行が収束せず、インフルエンザの流行期が重なることによる外来受診患者の増加や医療体制の逼迫も懸念されます。また直近の2シーズン、インフルエンザに罹患した人は極めて少数であったため、2022/23 シーズンにはインフルエンザの感受性者がさらに増加している可能性も考えられます⁷⁾。

以上の点から、**予防接種推進専門協議会は、2022/23 シーズンにおいても、インフルエンザワクチンの接種を強く推奨します。**

我が国における 2022/23 シーズンのインフルエンザ HA ワクチンは、2021/22 シーズンから A/H3N2 株 と B/ビクトリア系統株の 2 株が変更となり、A/ビクトリア/1/2020 (IVR-217) (H1N1)、A/ダーウィン/9/2021 (SAN-010) (H3N2)、B/プーケット/3073/2013 (山形系統)、B/オーストラリア/1359417/2021 (BVR-26) (ビクトリア系統) の4株に決定しており⁸⁾、例年の使用量に相当する程度が供給される見込みです。

• **高齢者やリスク因子を有する人は、インフルエンザ罹患後の続発性細菌性肺炎の予防も重要です**

季節性インフルエンザの流行に伴い、インフルエンザに続発する細菌性肺炎（二次性細菌性肺炎）が問題となり、その原因菌は肺炎球菌が多いと報告⁹⁾されています。また、肺炎、特に肺炎球菌性肺炎は高齢者や基礎疾患があることで罹患のリスクが高くなる¹⁰⁾ことが知られており、高齢者の肺炎予防に対して、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを併用して接種することが推奨¹¹⁾されています。当協議会では、COVID-19 流行下においても、ワクチンで予防できる疾患に対しては積極的にワクチン接種を行い、公衆衛生体制と医療提供体制の維持につなげる必要があり、定期接種に限らず任意接種のワクチンについても年齢・基礎疾患・感染リスクなどの状況から推奨される人を対象に、積極的に接種していくことが、きわめて重要である¹²⁾ことを表明しております。

インフルエンザ、細菌性肺炎に罹患すると重症化しやすい高齢者および基礎疾患を有する方については、新型コロナウイルスワクチンの3回目、4回目の接種を優先しつつ、適切なタイミングでインフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンを接種することが感染症対策の観点から重要です。インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンは同時接種が可能です。

2022年7月現在、新型コロナウイルスワクチンの前後に他の予防接種を行う場合、原則として13日以上の間隔をおくことが規定されており、同時接種は認められていませんが、インフルエンザワクチンと新型コロナウイルスワクチンとの同時接種ならびに、インフルエンザワクチンと新型コロナウイルスワクチンとの接種間隔については制限がなくなることが、第33回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会（2022年7月22日開催）で承認されました¹²⁾。

肺炎球菌ワクチンには23価莢膜多糖体ワクチン（PPSV23）と13価結合型ワクチン（PCV13）の2種類がありますが、定期接種対象の65歳以上の高齢者にはPPSV23の接種が優先されます。最近、65歳以上の5年経過措置において、2019年度の定期接種実施率の低下（13.7%）が報告されたこともあり、より一層の接種率向上が求められています¹³⁾。定期接種対象外の65歳以上の高齢者（過去に定期接種でPPSV23を接種し、再接種に該当する高齢者を含む）および6歳から64歳までの基礎疾患を有するハイリスク者にはPCV13-PPSV23の連続接種が選択肢となります^{14)、15)}。

【文献】

- 1) 厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html#h2_1
(2022年7月17日閲覧)
- 2) 首相官邸ホームページ 新型コロナウイルスワクチンについて
<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html>
(2022年7月17日閲覧)
- 3) 厚生労働省 インフルエンザに関する報道発表資料 2020/2021 シーズン 2021年3月12日インフルエンザの発生状況について
<https://www.mhlw.go.jp/content/000752481.pdf> (2022年7月17日閲覧)
- 4) 厚生労働省 インフルエンザに関する報道発表資料 2021/2022 シーズン
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou01/houdou_00009.html (2022年7月17日閲覧)
- 5) 一般社団法人日本感染症学会 提言 2022-2023年シーズンのインフルエンザ対策について（一般の方々へ）

https://www.kansensho.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=46

(2022年7月31日閲覧)

- 6) Australian Influenza Surveillance Report and Activity Updates.

<https://www1.health.gov.au/internet/main/publishing.nsf/Content/cda-surveil-ozflu-flucurr.htm>

(2022年7月17日閲覧)

- 7) 日本ワクチン学会「2022-23シーズンの季節性インフルエンザワクチンの接種に関する日本ワクチン学会の見解」

http://www.jsvac.jp/pdfs/JSVAC_2022-23flu.pdf (2022年7月17日閲覧)

- 8) 健発 0412 第1号 令和4年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について

(通知) 2022年4月12日

- 9) 日本呼吸器学会 インフルエンザ・インターネット・サーベイ(2019-2020年シーズン)

https://www.jrs.or.jp/iis/summary_graph.php (2022年7月17日閲覧)

- 9) Imai, K. et al. :BMJ Open8 (3) :e018553, 2018

- 10) 日本呼吸器学会成人肺炎診療ガイドライン 2017 作成委員会:成人肺炎診療ガイドライン 2017 第1版 日本呼吸器学会:155, 2017

- 11) 予防接種推進専門協議会「新型コロナウイルス感染症流行時における、既存ワクチンの接種率向上等による感染症予防の重要性に関する声明」(2021年3月11日) [http://vaccine-](http://vaccine-kyogikai.umin.jp/pdf/210311_statement_new-coronavirus-infections_existing-vaccines-increase_importance-prevention.pdf)

[kyogikai.umin.jp/pdf/210311_statement_new-coronavirus-infections_existing-vaccines-increase_importance-prevention.pdf](http://vaccine-kyogikai.umin.jp/pdf/210311_statement_new-coronavirus-infections_existing-vaccines-increase_importance-prevention.pdf)

(2022年7月17日閲覧)

- 12) 厚生労働省:新型コロナワクチンの接種について. 第33回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会.

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000968057.pdf> (2022年7月17日閲覧)

- 13) 定期の予防接種実施者数(厚生労働省)

(<https://www.mhlw.go.jp/topics/bcg/other/5.html>) (2022年7月17日閲覧)

- 14) 日本呼吸器学会呼吸器ワクチン検討委員会/日本感染症学会ワクチン委員会・合同委員会:「65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方(第3版)」(2019年10月30日)

https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/guidelines/o65haienV/o65haienV_191_030.pdf (2022年7月17日閲覧)

- 15) 日本呼吸器学会呼吸器ワクチン検討委員会/日本感染症学会ワクチン委員会/日本ワクチン学会・合同委員会:「6歳から64歳までのハイリスク者に対する肺炎球菌ワクチン接種の考え方」(2021年3月17日)

https://www.jrs.or.jp/uploads/uploads/files/guidelines/haien_kangae20210520.pdf (2022年7月17日閲覧)